



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社ZUU 上場取引所 東
 コード番号 4387 URL https://zuu.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 富田 和成
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 藤井 由康 TEL 03-4405-6102
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,759	17.9	101	—	102	—	65	—
2022年3月期第2四半期	1,492	24.3	2	—	2	—	△13	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 46百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △32百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	13.87	13.85
2022年3月期第2四半期	△2.83	—

(注) 1. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,263	1,353	54.6
2022年3月期	2,006	1,195	55.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,234百万円 2022年3月期 1,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,717	10.1	372	—	370	—	216	—	45.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	4,749,860株	2022年3月期	4,749,860株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	189株	2022年3月期	150株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	4,749,672株	2022年3月期2Q	4,729,569株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社の決算補足説明資料は決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの持ち直しの動きが続いている中で、ウクライナ情勢や急激な円安進行による物価の高騰など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、株式会社電通発表の『2021年 日本の広告費』（2022年2月24日発表）によると、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和したことで、広告市場は大きく回復し、日本の総広告費は前年比110.4%増の6.8兆円となりました。インターネット広告費は、継続的に高い成長率を維持しており、マスコミ四媒体（新聞、雑誌、テレビ、ラジオ）広告費を上回る2.7兆円を超える市場規模となっております。

このような環境の中で、当社グループはお客様や従業員の健康・安全を確保するため、全社でのリモートワーク実施、商談のオンラインへの切り替え、社内イベントのオンライン化等の施策を講じるとともに、「機会格差を解消し、持続的に挑戦できる世界へ」というパーパスの下、「ZUU online」等の自社メディアのユーザー層の拡大、及び他有力メディアとの連携も強力に推進いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,759,216千円（前年同四半期比17.9%増）、営業利益は101,031千円（前年同四半期は営業利益2,228千円）、経常利益は102,563千円（前年同四半期は経常利益2,925千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は65,867千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失13,377千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（フィンテック・プラットフォーム事業）

検索エンジンのアルゴリズム変更の影響により、一時的な落ち込みはありましたが、自社メディアの認知度向上や訪問ユーザー数は順調に推移していることから、送客事業は引き続き堅調に推移いたしました。またPDCA関連サービス（注）についても昨年度に実施した広告投資の効果もあり、引き続き堅調に推移いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高1,707,842千円（前年同四半期比16.9%増）、営業利益は155,399千円（前年同四半期比77.7%増）となりました。

（クラウド・ファンディング事業）

当第2四半期連結累計期間は、融資型クラウド・ファンディングは順調に成立案件が続いたものの、株式投資型クラウド・ファンディングにおいて案件数が伸び悩んだことから引き続きコストが先行する状況となり、売上高は58,834千円（前年同四半期比46.2%増）、営業損失は54,368千円（前年同四半期は営業損失85,222千円）となりました。

（注）：当社のPDCAノウハウを活用した組織マネジメントSaaSサービス「PDCA Cloud」およびPDCAノウハウによるコンサルティングサービス「PDCA Engineering」等をSMB中心に提供しております。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,046,685千円となり、前連結会計年度末に比べ260,816千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が294,004千円、営業貸付金が165,000千円増加し、売掛金が163,774千円減少したことによるものであります。固定資産は216,373千円となり、前連結会計年度末に比べ4,350千円減少いたしました。これは主に減価償却により有形固定資産が4,875千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、2,263,058千円となり、前連結会計年度末に比べ256,465千円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は894,544千円となり、前連結会計年度末に比べ98,700千円増加いたしました。これは主に匿名組合出資預り金が165,000千円増加し、未払金が66,904千円減少したことによるものであります。固定負債は15,141千円となり、前連結会計年度末に比べ60千円減少いたしました。

この結果、負債合計は、909,685千円となり、前連結会計年度末に比べ98,639千円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,353,372千円となり、前連結会計年度末に比べ157,826千円増加いたしました。これは主に第三者割当増資により資本剰余金が67,524千円増加したことおよび親会社株主に帰属する四半期純利益65,867千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.6%（前連結会計年度末は55.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は概ね計画どおりに推移しており、2022年5月13日公表の業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,035,443	1,329,447
売掛金	501,092	337,318
仕掛品	5,827	4,410
営業貸付金	165,000	330,000
その他	83,578	50,581
貸倒引当金	△5,072	△5,072
流動資産合計	1,785,868	2,046,685
固定資産		
有形固定資産	26,876	22,000
無形固定資産	83	76
投資その他の資産		
投資有価証券	85,600	85,600
敷金及び保証金	91,479	92,079
繰延税金資産	15,133	15,133
その他	1,549	1,481
投資その他の資産	193,763	194,295
固定資産合計	220,723	216,373
資産合計	2,006,592	2,263,058
負債の部		
流動負債		
買掛金	98,836	78,113
短期借入金	19,170	-
未払金	262,980	196,076
未払法人税等	2,672	66,782
匿名組合出資預り金	165,000	330,000
その他	247,183	223,573
流動負債合計	795,844	894,544
固定負債		
資産除去債務	15,201	15,141
固定負債合計	15,201	15,141
負債合計	811,046	909,685
純資産の部		
株主資本		
資本金	879,556	879,556
資本剰余金	819,625	887,149
利益剰余金	△594,252	△528,384
自己株式	△337	△404
株主資本合計	1,104,591	1,237,915
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,858	△3,217
その他の包括利益累計額合計	△1,858	△3,217
新株予約権	88,026	91,368
非支配株主持分	4,786	27,305
純資産合計	1,195,546	1,353,372
負債純資産合計	2,006,592	2,263,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,492,202	1,759,216
売上原価	370,232	471,993
売上総利益	1,121,970	1,287,222
販売費及び一般管理費	1,119,742	1,186,191
営業利益	2,228	101,031
営業外収益		
受取利息	7	6
為替差益	-	1,459
助成金収入	1,467	-
その他	114	434
営業外収益合計	1,589	1,901
営業外費用		
支払利息	-	29
為替差損	458	-
支払手数料	433	339
営業外費用合計	892	369
経常利益	2,925	102,563
特別利益		
新株予約権戻入益	1,844	4,269
特別利益合計	1,844	4,269
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	4,769	106,832
匿名組合損益分配額	2,220	6,082
税金等調整前四半期純利益	2,548	100,749
法人税、住民税及び事業税	34,818	52,884
法人税等合計	34,818	52,884
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32,269	47,865
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,891	△18,002
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,377	65,867

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32,269	47,865
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△145	△1,359
その他の包括利益合計	△145	△1,359
四半期包括利益	△32,414	46,506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,522	64,508
非支配株主に係る四半期包括利益	△18,891	△18,002

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,548	100,749
減価償却費	5,798	4,996
株式報酬費用	13,309	7,611
新株予約権戻入益	△1,844	△4,269
受取利息	△7	△6
支払利息	—	29
支払手数料	433	339
売上債権の増減額 (△は増加)	236,983	164,495
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,576	△20,723
未払金の増減額 (△は減少)	18,091	△69,627
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△61,780	21,068
その他	△54,214	△46,180
小計	165,896	158,483
利息の受取額	7	6
利息の支払額	—	△29
法人税等の還付額	102	47,967
法人税等の支払額	△100,518	△1,010
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,487	205,417
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,648	△113
投資有価証券の取得による支出	△80,600	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,248	△113
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△19,170
株式の発行による収入	34,146	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△2,500
非支配株主からの払込みによる収入	6,300	110,545
その他	△433	△406
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,012	88,467
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	232
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	21,273	294,004
現金及び現金同等物の期首残高	1,253,624	1,035,443
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,274,898	1,329,447

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィンテック・ プラットフォーム	クラウド・ ファンディング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,456,453	35,749	1,492,202	-	1,492,202
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,270	4,500	8,770	△8,770	-
計	1,460,723	40,249	1,500,972	△8,770	1,492,202
セグメント利益 又は損失(△)	87,450	△85,222	2,228	-	2,228

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィンテック・ プラットフォーム	クラウド・ ファンディング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,706,012	53,204	1,759,216	-	1,759,216
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,830	5,630	7,460	△7,460	-
計	1,707,842	58,834	1,766,676	△7,460	1,759,216
セグメント利益 又は損失(△)	155,399	△54,368	101,031	-	101,031

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。